

逆止アダプター ..... PV822S

施工説明書

施工の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。

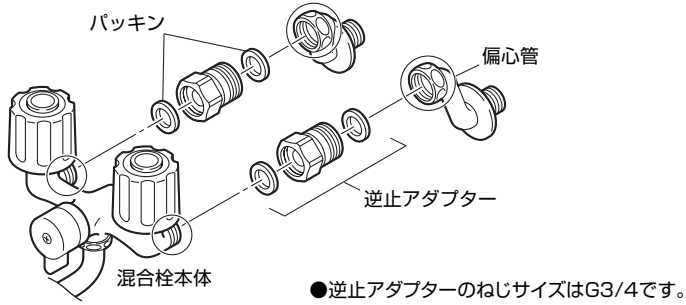
お客様へ

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 混合栓の使用については、混合栓側の「施工・取扱説明書」をお読みください。

逆止アダプターについて

■逆止弁のない壁付ツーバルブ混合栓本体と偏心管の間に取付け、湯・水の逆流を防ぎます。

各部の名称



安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって、重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認してください。

〈施工上の注意事項〉

⚠ 注意

- ❌ 凍結が予想される地域には、使用しないでください。凍結破損で漏水し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
- ❌ 給湯圧力が給水圧力より高い現場には取付けしないでください。また、シャワをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。カラン側からシャワ側へ切替えた際に、シャワ側から湯が出てやけどをするおそれがあります。

施工について

適合メーカーについて

■混合栓本体と偏心管の接続構造の種類によって、取付方法が異なります。次の表を参照し、既設の混合栓に合ったアダプターを選定してください。

タイプ	メーカー名	使用するアダプター
Aタイプ	SAN-EI	●Aタイプ パッキン(大) 偏心管(メスねじ) 逆止アダプター 混合栓本体
	TOTO (壁付ツーバルブ)	
	INAX(LIXIL)	
	KVK※ KAKUDAI※	
Bタイプ	MYM	●Bタイプ パッキン(小) 逆止アダプター 混合栓本体
Cタイプ	KVK※ KAKUDAI※	●Cタイプ パッキン(大) 偏心管(オスねじ) 逆止アダプター 混合栓本体

※KVK、KAKUDAI製のツーバルブはA・Cタイプ2通りの接続構造の種類があります。

器具の取付け

**1** 止水栓を閉めます。

混合栓のハンドルを開いて、止水の確認をします。

**2** 混合栓の本体をはずします。

偏心管のナット交互に少しずつゆわめて取りはずします。偏心管にナットが付いている場合は右、本体にナットが付いている場合は左にまわします。

**3** 混合栓本体・偏心管内の掃除をします。

混合栓本体・偏心管内のゴミをきれいに取除きます。

(注) 偏心管ナット内のパッキンは付属のパッキンと交換するため、必要ありません。

**4** 逆止アダプターを取付けます。

Aタイプ・Bタイプの場合

**1** 逆止アダプターを混合栓本体に取付ける。

**2** 偏心管に混合栓本体側を取付ける。

■Aタイプの場合

■Bタイプの場合

Cタイプの場合

**1** 逆止アダプターの内部部品を組替える。(注) 向きに注意してください。

**2** 逆止アダプターを偏心管に取付ける。

**3** 混合栓本体を逆止アダプターに取付ける。

※各接続部の間にパッキンが入っている事を確認し、左右のナットを同じ割合で締付けます。

**5** 止水栓を開いて水もれをチェックします。

接続後、作動および各部に水もれがないか必ず確認してください。また、ストップシャワを使用している場合は、開閉ボタンを操作して、同様の確認を行ってください。水もれがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。